



ツシマヤマネコの連続無事故記録の看板を設置

上原町のガソリンスタンドと対馬空港に

交通事故に巻き込まれるツシマヤマネコが増える中、ドライバーをはじめ多くの人々に事故の現状を知ってもらおうと、環境省をはじめ長崎県及び対馬市は、ヤマネコの連続無事故記録を表示した看板を市内の2箇所に設置しました。

上原町佐須奈のガソリンスタンドと対馬空港（愛称：対馬やまねこ空港）の到着口に設置された看板は、

アルミ製で高さ60cm×幅90cm。「STOP！交通事故」の文字の下に、入れ替え式の数字パネルが配置され、今日で事故が何日発生していないかが確認できます。数字の入れ替えは、看板設置先の（株）鈴木石油と対馬空港ターミナルビル（株）が行います。

6月27日、対馬空港で行われた看板の除幕式では、対馬野生生物保護センターの佐々木真二郎自然保護官と対馬空港ターミナルビル

（株）の原田裕夫管理部長により除幕が行われ、ツシマヤマネコのキャラクター「ろくべえ」がくす玉を割り、「目指せ！ヤマネコ無事故1000日」と書かれた垂れ幕が現れました。

佐々木自然保護官は、「数字が毎日変化するので、ドライバーに関心を寄せてもらえらる」と期待を寄せていました。ツシマヤマネコの交通事故は平成18年度中に8件、19年度中に3件発生しています。

隠れた対馬の名所を巡る

アキマドボタル



アキマドボタル

対馬には、対馬だけでしか見ることができない生物が数多く生息しています。そんな生物にアキマドボタルがいます。

蛍が現れる季節といえば夏ですが、なんとアキマドボタルは名前からも分かるのとおり「ナツ」ではなく「アキ」に現れる蛍です。アキマドボタルは本来、朝鮮半島や中国に生息する大陸系の昆虫です。日本では対馬だけに生息しています。一般的に見られるゲンジボタルやヘイケボタルなどとの一番の違いは、現れる時期が9月



雄のアキマドボタル（上）と、羽が退化し飛べない雌（下）

から10月にかけてであるというところですが、

また、雌は羽が退化し飛ぶことができず、地上を歩きまわります。アキマドボタルは長崎県の天然記念物に指定されています。

秋の夜長は月見だけじゃなく、蛍を眺め 対馬の自然の素晴らしさと 自然の神秘 を五感で体感してみたいいかがでしょうか。

対馬市役所観光物産推進本部

FAX 0920(53)6111
0920(53)6122